

# 平成26年度 生徒指導推進計画

## 1 実態

豊かな自然に囲まれた地域の中で、子どもたちは自然や地域と関わりながら成長してきた。明るく、素直な心を持ち、日々の学習活動にものびのびとまじめに取り組んでいる。反面、幼少期から限られた少人数の中で集団生活を送り、様々な課題を抱える家庭環境も見られる。実態は、次の通りである。

- ・あいさつができる児童は増えてきている。しかし、自分から進んで大きな声で、そして校外においてあいさつできる児童が十分育っているとはいえない。
- ・時と場に応じた言葉遣いや声の大きさが十分定着していない。
- ・チャイム前行動など、時間を意識した行動が身に付いてきている。
- ・課題を見つけて自主的に掃除する姿勢や静かに掃除する姿勢は不十分である。
- ・自己表現をする機会を多く設けることで、一人一人に自信は見られるが、自己肯定感や満足感は高くない。
- ・暴力行為、器物破損等の問題行動や不登校等は現在見られない。(昨年度、通院・体調不良等で30日以上欠席児童は1名)しかし、昨年度は他者への未熟な想像力の中で2件のいじめを認知した。引き続き、いじめ・不登校等未然防止の取組を進めていく必要がある。

## 2 学校教育目標, 生徒指導目標, 生徒指導重点目標

### (1) 学校教育目標

可能性に挑戦し、感動する、自立した玖島っ子を育成する。

### (2) めざす子ども像

- 自らの考えをはっきり表現できる子 (知)
- 相手の思いをしっかり受けとめる子 (徳)
- 運動に親しみ、夢中で活動する子 (体)

### (3) 中学校区「生徒指導部会」目標

○基本的生活習慣を身につけ、自立した児童・生徒の育成

### (4) 生徒指導目標

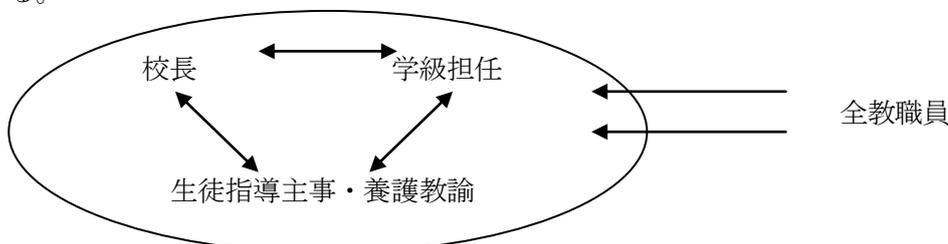
- 規律ある生活態度を育成する。
- よく考え、責任ある行動ができる力を育成する。

### (5) 生徒指導重点目標

- ①学校生活のきまりを守り、規律ある生活態度を育成する。
- ②生徒指導の三機能を生かし、相互に尊重し共感的に理解し合う関係を育成する。
- ③「あさがお」あいさつや適切な言葉遣い、気持ちのよい返事をする姿勢を育てる。
- ④時間を守り、見通しを持った姿勢を育てる。
- ⑤「もみじか」掃除に取り組む姿勢を育てる。
- ⑥主体的な活動に取り組み、自己肯定感を育む。
- ⑦下学年からのあこがれとなる高学年を育成する。
- ⑧問題行動の未然防止及び早期発見に努め、迅速な対応や指導を行う。

## 3 校内指導体制

○全教育活動を通して、生徒指導を計画的・組織的に行い、全教職員が一致して積極的な指導をすすめる。



- 問題行動等などに関する緊急対応には、プロジェクトチームを整え、事態に共通認識をもってあたる。(別紙参照)

#### 4 基本方針

- 一人一人の実態や課題を把握し、健全な育成を図るとともに、問題行動等の未然防止及び早期発見・早期解決に努める。
  - ・個人の課題を十分に把握した上で、きめ細やかな指導を行い、多面的な見方で児童理解を行っていくとともに、悩みや不安を相談できる体制づくりをすすめる。
  - ・特に、いじめは「どの子どもにも起こり得る」という認識のもと、児童の小さなサインを見逃さず、いじめの早期発見に努める。また、「いじめは絶対に許されない」という認識に立って指導するとともに、いじめを許さない集団づくりを進める。
  - ・児童や保護者、そして教職員間でしっかりとコミュニケーションや連携を図り、個の実態を的確に把握し、個に応じた適切な指導をする。特に不登校児童や不登校傾向にある児童への適切な指導や支援を行う。
  - ・アンケート(いじめ等、子ども相談日カード等)を実施するとともに、定期的に児童の様子に関して情報交換する。全教職員が共通意識を図り、児童との望ましい人間関係に立った取組をすすめる。  
いじめ、体罰・セクハラアンケートは年間3回(6月・11月・2月)、子ども相談日カードは原則毎月実施する。
  - ・実践の交流や研修などを通して、教職員の共通理解を図り、指導を推進していく。
  - ・特別支援教育校内委員会と連携し、個別の支援計画を立て、保護者との共通認識を深めながら必要に応じて専門機関との連携を図っていく。
  - ・適宜、ケース会議および児童の情報交換会をもつ。

#### 5 その他

- 家庭訪問・個人懇談・学級懇談・学校懇談会・PTA役員会等を通して、生徒指導上の諸問題に対して保護者と連携して取り組む。
- 佐伯中学校区小中連携協議会で各校の情報交換や児童の課題把握に努めながら、小中9年間の見通しを持った取組みをすすめる。特に、生徒指導共通重点目標を掲げ、取組みを進める。
- 児童の問題行動等への対応にあたっては、関係機関と連携して幅広く取組みを進める。
- 交通安全教室や集団下校・避難訓練等の実施を通して、校内外・登下校中の児童の安全確保と危険回避能力向上に努める。
- 犯罪防止教室・薬物乱用防止教室・喫煙防止教室を実施し、規範意識の向上に努める。
- 自他尊重の資質を育てる教育活動を進めるために、各教科はもちろんのこと、道徳・特別活動のさらなる充実を図る。
- 地域の人とふれあいの機会を持ち、地域活動に積極的に参加できるようにする。校内では、多様な人間関係を形成できる活動を充実させる。
- 緊急時の一斉メール送信や電話での連絡網を整備し、緊急時における迅速な対応ができるようにする。
- 校内環境を整備する。
- 未然防止事項として、次の点に配慮する。  
インターネットゲーム、メールや携帯電話について、性に関すること

## 6 年間計画

月	生活（行動）目標	関連指導	その他
4月	やるべきことをやりぬこう	生活のきまりについて さいきっ子ノートについて 学習規律について	子ども相談日カード
5月	「あさがお」あいさつと元気な返事を広げよう	あいさつ運動による高学年モデル育成 生活のきまり，学習規律について	子ども相談日カード
6月	忘れ物を0にしよう	家庭学習について 生活習慣について（ゲーム等）	いじめ，体罰・セクハラアンケート 教育相談
7月	時間前行動をしよう	休憩時間の過ごし方について 生活のきまり，学習規律について 夏休みのくらしについて	子ども相談日カード 犯罪防止教室
8月	規則正しい生活を送ろう	夏休みのくらしについて	校区内巡回指導（中学校と連携）
9月	目標に向かって最後までやりとげよう	運動会への取組（スローガン達成）	子ども相談日カード
10月	ほめ言葉 はげまし言葉 なぐさめ言葉をふやそう	友だちを大切にしたコミュニケーションについて 言葉によるいじめ問題について	子ども相談日カード
11月	目標に向かって最後までやりとげよう	学習発表会への取組（スローガン達成）	いじめ，体罰・セクハラアンケート 教育相談
12月	「もみじか」そうじで学校をきれいにしよう	清掃活動について 縦割り班活動における高学年モデル育成 冬休みのくらしについて	子ども相談日カード
1月	ていねいな言葉で気持ちのよいつき合いをしよう	人とのコミュニケーションについて 服装について	喫煙防止教室 子ども相談日カード
2月	身の回りや使ったものを整理せいとんしよう	トイレのスリッパ，遊具（そり等），校内美化について	薬物乱用防止教室 いじめ，体罰・セクハラアンケート 教育相談
3月	感しゃの気持ちを表そう	6年生を送る会，卒業式への取組	子ども相談日カード

・必要に応じて，PTA総会や懇談会等を利用し，生徒指導上の諸問題を保護者に働きかける。